

令和3年（2021年）8月12日

山形大学公開講座「2020年代の日本社会を展望する」のご案内

【本件のポイント】

- 令和3年度山形大学公開講座「2020年代の日本社会を展望する」を開催します。
- 受講形式はオンライン（Zoom）で、見逃し配信あり。
- 一般2,000円、大学生・高校生無料。申込み受付は9/6まで。



【概要】

山形大学公開講座「2020年代の日本社会を展望する」（全5回）を令和3年9月14日（火）から毎週火曜日に開催します。新型コロナウイルスによって変化に向けた動きが急停止してしまった日本社会。働き方、景気、暮らしなど、身近なキーワードを導きの糸として、日本社会のあり方について考えていきます。オンライン限定です。一般2,000円、大学生・高校生無料。お申し込みは専用フォームから。

【講座の概要】

新型コロナウイルスの感染拡大が発生し、世間の関心はその一点に集中してしまいました。感染拡大の前は東京五輪を象徴的な目標として日本社会が動いているという雰囲気があった。五輪開催を契機として新たな社会モデルが提出され、東京ひいては日本がより成熟した都市や国家に生まれ変わるといった明るい展望が期待された。しかし、社会のあり方を変革するようなアイデアが生み出されたようには見受けられないまま、新型コロナウイルスによって変化に向けた動きは急停止してしまいました。

ワクチンや治療薬の開発によって新型コロナウイルスを克服できたとしても、日本が抱えている課題は積み残されたままである。2020年代に日本社会がどこに向かうのか先行きを展望することが難しいことに改めて気づかされる。本講座では働き方、景気、地方、財政、暮らしの安全といった市民にとって身近なキーワードを導きの糸として日本社会のあり方について考えていく。

【プログラム】

- 9月14日（火）「働き方はどうなるの？」／教授 安田均
- 9月21日（火）「景気はどうなるの？」／准教授 溜川健一
- 9月28日（火）「地方はどうなるの？」／教授 山田浩久
- 10月5日（火）「財政はどうなるの？」／教授 坂本直樹
- 10月12日（火）「暮らしの安全はどうなるの？」／教授 高倉新喜

【受講方法】 オンライン（Zoom） 【時間】 各回 18：30～19：40

【対象・受講料】 一般2,000円、大学生・高校生無料 【定員】 なし 【申込期限】 2021年9月6日（月）

【お申し込み方法】 専用フォームからお申し込みください。

<https://www.ocans.jp/yamagata-u?fid=5BNxlaZl>



お問い合わせ

小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室（企画広報）

TEL 023-628-4505 メール yu-kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp